

4. 運転日誌類

1、2号機 当直長引継日誌

様式-1

福島第一原子力発電所 1・2号機

当直長引継日誌 (1/3)

当直長引継日誌

				[確認] 原子炉主任技術者
平成 23年 3月 11日 金曜日 8時 30分 2直 E班				[確認] 次直 当直長
				[作成・承認] 当直長
11名(直員) 出勤 一名(研修指導員) 1名(研修生)		適用する 組織表No.	休 務	応 援
		172	代 務	なし
1号機	発電機出力	460MWe	原子炉の状態	運転・起動・高温停止・冷温停止・燃料交換
2号機	発電機出力	789MWe	原子炉の状態	運転・起動・高温停止・冷温停止・燃料交換
記 事				
1号機				
1. 運転状況				
(1) 発電機出力460MWe運転中				
(2) M. COND B/W 04:04~04:51				
2. 保安規定の遵守状況				
異常なし				
3. 定例試験				
なし				
4. 作業依頼・不適合				
なし				
5. 廃棄物処理設備の状況				
特記事項なし				

様式-1

福島第一原子力発電所 1・2号機

主要測定項目

平成 23年 3月 11日 金曜日 (2直) 当直長引継日誌 (3/3)

測 定 項 目	測 定 頻 度	1 号 機	2 号 機	備 考
1 最小限界出力比割合 (CMFCP)	1回/直	0.85	0.90	
2 最大線出力密度比 (CMFLPD)	1回/直	0.81	0.76	
3 原子炉最低水位	1回/直	925mm	1130mm	
4 使用済燃料プール最高水温	1回/直	25℃	26℃	
5 使用済燃料プール水位状態	1回/直	オーバーフロー水位付近	オーバーフロー水位付近	
6 原子炉冷却材温度最大変化率	起動時及び停止時	-℃/hr	-℃/hr	
7 原子炉压力容器最低温度	原子炉压力容器の耐圧試験時	-℃	-℃	

(1・2号、5・6号の様式)

(記録用紙の単位変更は可能とする。)

様式-1

福島第一原子力発電所 1・2号機

平成 23年 3月 11日 金曜日(1直) 当直長引継日誌(3/4)

2号機			
1. 運転状況			
(1) 原子炉停止中			
(2) 警報「SEISMIC MONITOR TRIP」発生			14:47
(3) 原子炉自動スクラム・主タービン自動停止(宮城県沖地震発生)			14:47
(4) 原子炉の状態「運転」→「高温停止」			14:47
(5) 全制御棒全挿入			14:47
(6) 原子炉モードスイッチ「運転」→「停止」			14:47
(7) D/G2A自動起動(大熊線2号外部電源喪失) /トリップ			14:47 / 15:41
(8) MSIV 全閉			14:47
(9) M COND Vacブレーク			14:55
(10) 原子炉未臨界			15:01
(11) RCIC 手動起動			15:02
(12) トーラススクリング/トーラススプレイ インサービス			15:07 / 15:25
(13) RPS MG (A) / (B) 再起動			15:27 / 15:29
(14) D/G2Bしゃ断器トリップ(ランニングスタンドバイ) /トリップ			15:40 / 15:42
(15) M/C2Eトリップ			15:41
(16) 全交流電源喪失			15:41
2. 保安規定の遵守状況			
(1) 保安規定第17条(地震・火災等発生時の処置)			
・震度5弱以上の地震発生に伴い運転管理部長報告			14:50
(2) 保安規定第76条(異常発生時の基本的な対応)			
・原子炉自動スクラム発生に伴い運転管理部長報告			14:50
(3) 保安規定第77条(異常時の処置)			
・「原子炉がスクラムした場合の運転操作基準」に則り実施			14:47
(4) 保安規定第113条(通報)			
・原子力災害特別措置法第10条第1項特定事象(全交流電源喪失)発生に伴い運転管理部長報告			15:41
3. 定例試験			
(1) T-RFP油タンク油面高/低警報試験、油ポンプ自動起動試験	合格		10:05~10:29
(2) MTb保安装置試験	合格		10:33~10:43
(3) 密封油系試験	合格		11:06~11:17
4. 作業依頼・不適合			
なし			
5. 廃棄物処理設備の状況			
特記事項なし			
6. その他(共通)			
(1) 地震発生			14:46
楢葉町北田6強 富岡町本岡6強 大熊町下野上6強 大熊町野上6強 双葉町新山6強			
(2) 大津波警報発令			14:58

様式-1

福島第一原子力発電所 1・2号機

主要測定項目

赤文字は未確定

平成 23年 3月 11日 金曜日 (1直) 当直長引継日誌 (4/4)

測定項目	測定頻度	1号機	2号機	備考
1 最小限界出力比割合 (CMFCP)	1回/直	0.85	0.90	
2 最大線出力密度比 (CMFLPD)	1回/直	0.81	0.76	
3 原子炉最低水位	1回/直	917mm	1129mm	
4 使用済燃料プール最高水温	1回/直	25℃	26℃	
5 使用済燃料プール水位状態	1回/直	オーバーフロー水位付近	オーバーフロー水位付近	
6 原子炉冷却材温度最大変化率	起動時及び停止時	-℃/hr	-℃/hr	
7 原子炉压力容器最低温度	原子炉压力容器の耐压試験時	-℃	-℃	

(1・2号、5・6号の様式)

(記録用紙の単位変更は可能とする。)

1号機 当直員引継日誌

様式・2

福島第一原子力発電所 1号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌(1/2)

平成 23 年 3 月 11 日 金曜日				2 直 E 班				[承認] 当直長				
引継者(作成者)名		[REDACTED]										
引受者名		[REDACTED]										
運 転 状 況	原子炉の状態		運 転		起 動		高温停止		冷温停止		燃料交換	
	発電機出力	459.8	MW	E/Mサーボ		85/77	%	T	0.69	MPa	12.0	℃
	原子炉熱出力	1377	MWt	R/B 差圧		-0.11	kPa	R	0.56	MPa	19.5	℃
	炉心流量	18330	t/h	炉水導電率		0.11*	μS	S	0.38	MPa	6.7	℃
	PLR速度マスター	80.5	%	炉水PH		6.8		FPC入口導電率		0.99	μS	
	PLRシール圧	7.0/5.00	MPa	R/B EqD タンクレベル		1.2	m	FPCスキマレベル		3.0	m	
		7.0/3.75		FPC Hx(A) 出口温度		23.2	℃	燃料プール上部温度		23.2	℃	
	復水器真空度	5.03	kPa	FPC Hx(B) 出口温度		-	℃	燃料プール下部温度		24.9	℃	
	S/P 水位	-0.4	mm	D/W 圧力		5.3	kPa	(採取時刻: 7時 30分)				
	CST 水位	75.2	%	大気圧		1011	hPa					
LCOに係わるインターロック除外の有無			なし									
定 例 試 験 ・ 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容					結果	状 況				
	04:04~04:51	主復水器逆洗					-	良好・要注意・継続中・中止				
備 考	* 恒温槽温度制御不良(MRF発行済み)のため参考値とする。											

様式-2

福島第一原子力発電所 1号機

平成23年3月11日 金曜日 (2直) 当直員引継日誌(2/2)

運 転 操 作 ・ 事 象 発 生 時 刻	時刻	内 容	分類	
	21:05	中操PNL警報テスト	【省令62号対象】	操
	21:05	MP PNL警報テスト		
	07:06	R/W PNL警報テスト		
	20:46	RW/B1階 RT作業終了(全完)	*FPC F/D 廻り弁点検	P
	00:05	Gen電圧パターン「G1→G0」変更		操
	00:31/00:31	警報【LP HEATER 2A LEVEL HIGH】「発生」/「クリア」		他
	00:33~00:37	TCW Hx(A/C) B/W		操
	04:43~04:47	RCW Hx(B/C) B/W		
	05:53	RPV水素注入量「自動」→「微量」	*T/B オペプロ作業(4uHTR 除却工事)	P
06:33~06:45	CW-鉄フラッシング		操	
06:40~07:30	M. Cond真空調整 5.5→5.0kPa E-3A開度:6.5→7.0%(5T開)		操	
分類の凡例	M: MRF発行 P: PTW	不: 不適合報告 RW: R/W関係	定: 定例試験・切替 様: 様子見	操: 運転操作 他: その他

現 場 状 況 ・ 申 し 送 り 事 項	内 容		分類	
	<ul style="list-style-type: none"> Gen防災N2カードル「軸受封入用」圧力については、現在のところ目に見えるような低下はありませんが、念のため1号機建屋内の同封入ライン(弁グランド・配管フランジ)L/C実施しました。異常ありません。(余裕がある時にでも2号機側も実施してみてください) 		様	
	<ul style="list-style-type: none"> D/G1B清水加熱ポンプ軸受温度 モーター側から「31.5℃-31℃-36℃(周囲21℃)」 		様	
分類の凡例	M: MRF発行 P: PTW	不: 不適合報告 RW: R/W関係	定: 定例試験・切替 様: 様子見	操: 運転操作 他: その他

様式-2

福島第一原子力発電所 1号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌(1/3)

平成 23 年 3 月 11 日 金曜日		1直 A班		[承認] 当直長							
引継者(作成者)名		[REDACTED]									
引受者名		[REDACTED]									
運 転 状 況	原子炉の状態	運 転	起 動	高温停止	冷温停止	燃料交換					
	発電機出力	■	MW	E/Mサーボ	■	%	T	■	MPa	■	°C
	原子炉熱出力	■	MWt	R/B 差圧	■	kPa	R	■	MPa	■	°C
	炉心流量	■	t/h	炉水導電率	■	μS	S	■	MPa	■	°C
	PLR速度マスター	■	%	炉水PH	■		FPC入口導電率		■	μS	
	PLRシール圧	■	MPa	R/B EqD タンクレベル		■	m	FPCスキマレベル		■	m
				FPC Hx(A) 出口温度		■	°C	燃料プール上部温度		■	°C
	復水器真空度	■	kPa	FPC Hx(B) 出口温度		■	°C	燃料プール下部温度		■	°C
	S/P 水位	■	mm	D/W圧力		■	kPa	(採取時刻: 時 分)			
CST 水位	■	%	大気圧		■	hPa					
LCOに係わるインターロック除外の有無			なし								
定 例 試 験 ・ 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容				結果	状 況				
	9:42~9:52	スラスト摩耗検出器作動試験				合格	良好・要注意・継続中・中止				
	10:37~10:50	非常用密封油ポンプ自動起動試験				合格	良好・要注意・継続中・中止				
		超高压開閉所碍子洗浄				—	良好・要注意・継続中・中止				
		硫酸第一鉄注入				—	良好・要注意・継続中・中止				
		主復水器逆洗				—	良好・要注意・継続中・中止				
備 考											

様式-2

福島第一原子力発電所 1号機

平成23年3月11日 金曜日 (1直) 当直員引継日誌(2/3)

時刻	内容	分類
8:35 8:36	中操PNL警報テスト 【省令62号対象】 MP PNL警報テスト H/U PNL警報テスト R/W PNL警報テスト	操
8:56~	新燃料検査作業	P
8:58~	T/B大物搬入口電動化工事	P
8:59	警報「LP HEATER 2A LEVEL HIGH」発生/即クリア	他
9:06~	空調月例点検(H/U排気ファン)	P
9:10	炉水サンプリング 手分析値(9:10) 0.107μS/cm pH:6.8 * 水素注入「微量」のため、クロム吐出の影響により指示上昇	
9:11~9:35	タプロゲボール回収&セット TOTAL:95.4% ゴミ・貝なし A:48個(97.0%) B:61個(98.3%) C:137個(92.6%) D:114個(93.9%)	他
9:14~	CUW非再生Hx出口導電率計(SP-14)恒温装置点検	P
9:24~11:13	給復水系サンプリングライン金属フィルター交換	他
9:34~	周辺放射線監視システム伝送系多重化工事 欠測時間(MP-6) HI側:9:58~10:05 LO側:10:17~10:23	P
9:55~	LPRMプラトー測定 10:03/10:28 APRM ch1, 5 BY-PS/解除 10:28/10:53 " ch2, 6 " 11:03/ " ch3, 4 "	P
9:56~10:15	発電機水素 ボンベ1本補給 0.3080↑0.3173MPa	操
10:08~10:55	OGサンプリング(定例) * バイアルサンプル真空ポンプT/Rも併せて実施 良好	他
10:10~11:04	PLR M-G(B)ブラシ点検	P
10:51	密封油Vacポンプ(B)ドレン抜き(2分目)	操
11:13	TCW Hx(A, C) B/W	操
分類の凡例	M: MRF発行 不: 不適合報告 定: 定例試験・切替 操: 運転操作 P: PTW RW: R/W関係 様: 様子見 他: その他	

様式-2

福島第一原子力発電所 1号機

平成23年3月11日 金曜日 (1直) 当直員引継日誌(3/3)

	内 容		分類	
現場状況・申し送り事項				
	分類の凡例	M: MRF発行 P: PTW	不: 不適合報告 RW: R/W関係	定: 定例試験・切替 操: 運転操作 様: 様子見 他: その他

様式-2

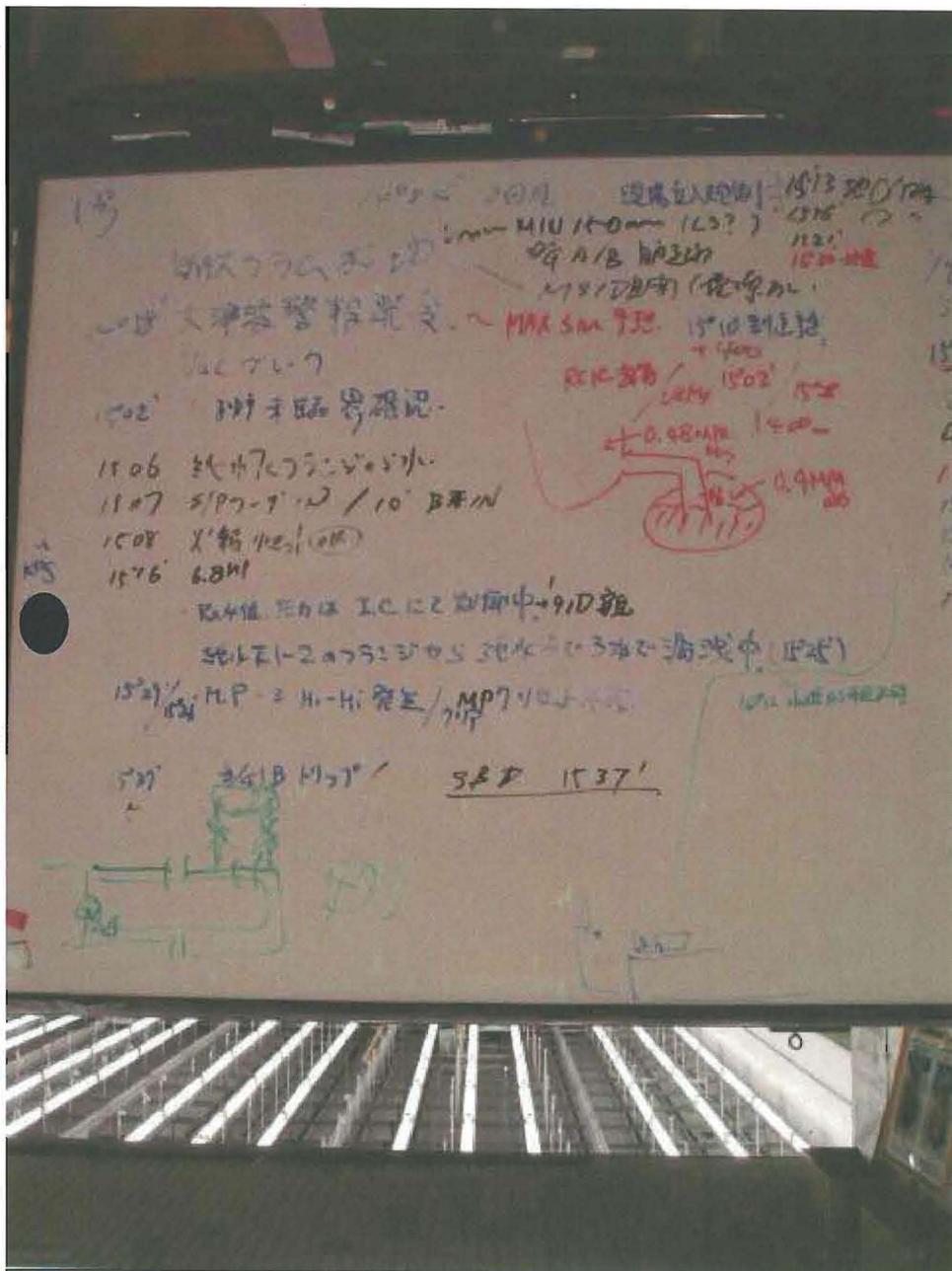
福島第一原子力発電所 1号機

平成23年3月11日 金曜日 (1直) 当直員引継日誌(2/)

1号機

地震発生以降、スクラム対応操作については中操ホワイトボードのメモより転記した。
なお、SBO以降については「地震後当直引き継ぎメモ」を参照。

	時刻	内容	分類	
操作・ 事象 発生 時刻	14:46	地震発生		
	14:46	自動スクラム成功 ・ D/G 1A・B自動起動 ・ MSIV 自動全閉 - 電源なし ・ 最低炉水位 ↓150mm		
	14:58	大津波警報発令 → 満潮 20:09 M. COND真空破壊		
	15:06	純水タンク フランジ部(腕3本)漏洩確認		
	15:07	トーラスクーリング(A) インサービス		
	15:10	トーラスクーリング(B) インサービス		
	15:16	炉圧 6.8MPa 炉水位 +910mm ・ Rx水位, 圧力はI. Cにて制御中		
	15:29/15:36	MP-3 Hi-Hi 警報発生/クリア (MP-7リセット不可)		
	15:37	D/G1B トリップ → SBO (A系トリップはいつ?)		
	15:50	計測用電源断 → 水位不明		
	17:30	ディーゼル駆動FP 起動 (圧力低信号リセットにて)		
	17:47	ディーゼル駆動FP 燃料272L		
	20:50	ディーゼル駆動FP 起動		
	17:37	T/B BFL 床から20cm程度有		
	17:47	1-2号開閉所 使用不可 (しゃ断器脱落のため) *緊対室より		
	18:18	IC MO-2A, 3A 開 (蒸気発生確認)		
	18:25	IC MO-3A 閉		
	21:30	IC MO-3A 開 (蒸気発生確認)		
	21:16	ろ過水元弁開 ?		
	21:21	燃料域水位計(A) 仮設電源に切替 +30cm		
	21:51	1号機 R/B入域禁止		
		< 以降, 3月12日分 >		
	06:14~06:20	仮設消火ポンプ 注入準備 (ATOX殿)		
	06:20	仮設消火ポンプ 注入開始 1m3		
	10:16~10:25	PCVベント AO-1601-90 開操作 → ダメ		
分類の凡例	M: MRF発行 P: PTW	不: 不適合報告 RW: R/W関係	定: 定例試験・切替 様: 様子見 操: 運転操作 他: その他	



15

1502 2011 1513 2017

MIU 1500 (L3?) 1515 1521

MAX SAM 930

REC 300

MAX SAM 930 1510 2017

REC 300

1502 1502 1502

1506 1506 1506

1507 1507 1507

1508 1508 1508

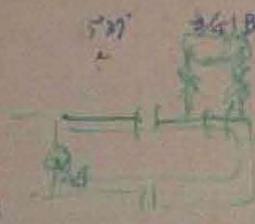
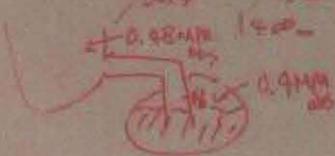
1576 1576

MAX SAM 930

REC 300

1521 1521 1521

1537 1537



23:05 10B 入工 票止 在 指示

23:14 中 控 由 PMS 使 用 研

Dr 压力 281020 400

15 水位計 270055. 25 0 ~ 4:30 ~

7% 的 分 配 確 定 止

10B 抽 油 子 (0.1) 抽 油 子
A 抽 油 子 抽 油 子
抽 油 子 抽 油 子
Gen 抽 油 子 抽 油 子

23:55 14 抽 油 子

M/C 作 業

0:00 抽 油 子 抽 油 子

10:28 抽 油 子 抽 油 子 抽 油 子

1:30 抽 油 子 抽 油 子 抽 油 子

抽 油 子

抽 油 子

抽 油 子 抽 油 子

假 設 抽 油 子 抽 油 子

LP- 4C

JZ CRT-18

使 用 済

現場
検査

MSV	2300	120
松の3下南	0.5	0.3
" 北	1.2	0.8

0.4t?
3.10t?

19097 (3.19) 8762mm

29097 φ27

Per 水

121-703

172H

1.03

CA1130

8.50

u TBS 50<5

15°50' 訂約書-原設計 水5270M

15°53' 印表電話

15°51' 水52出カ-90cm 原:油1020

反設

M/C 水52. 水1 原:油10

水52出カ

DDFP - 7=7:25.7.2.3

57分

7/8 地下 全水設. 水52 原:油10

*

9 7/8 不物物全. 7-10 水52 原:油10

RCOCF

SWPP (1) 水52

CWP 1 (2) 水52 原:油10

16°55' 現場

16°50' 水52 原:油10

17°19' 現場

17°19' 現場

17°30' 現場

17°37' 現場

2u

17°27' 現場. 17°40' 現場 原:油10 632

15°50' 訂約書-原設計 水5270M

S/B 10 水52. 原:油10 632

15°42' 原設計第10章完全

15°50' トラサカフ HIL ANA (設計)

16°03' ANN NSSS 手電源完全

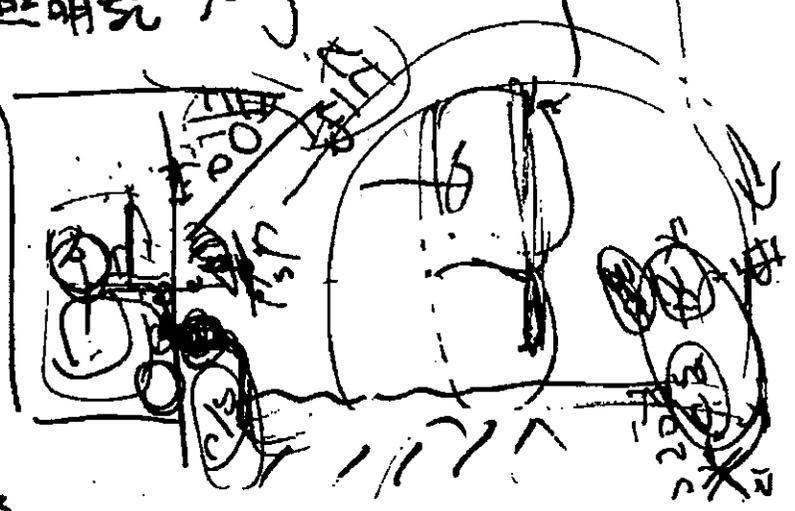
16°20' EOP ③ 5700

2309 可: M/C 水52

16°36' 原設計 15 原:油10

17°16' ECCN 水52 原:油10

現場 現場 現場 現場



20:40' 1/6 PCS 離し. 記録なし

20:50' 1/6 P 取動

21:08' 屋外 (録音動作) - (録音) 音 / 消込
21:09' 録音機

現場
検査 ●●

電話 P-レンジ使用不可 (10秒-0.8sec)

21:51' 1/5 P 入土 禁止

1000 cps

21:11' 水位計 OS 確認. (15) +40 cm

21:13' +30 cm 21:13
+45 cm

A 1/11. O.S

21:16' 70% 元毎 1/11

21:21' 埋料域水位計の極低水位 +30 cm +40

(B) 水位計 1000 cps

IC (I) 動作

21:32' +45 cm

21:30' IC 3 A (H)

埋料域 IC

21:57' (燃) +55 cm

22:12 " 59 cm

22:16 (燃) 59 cm. 22:18 59

22:23 59 cm 23:19 59

22:46 ●●●● (2a) → H25 B. 南
(録音計 持 2113) 029.13

22:16

●●●● (2) H27 A 埋料

22:22 MP 7 TD-45 7
" 8 TD-45 7

164
39
45

	1A	2A	
現場	2	10	4
中核	24		
	27	10	4
			41

3/2 (土)
4¹⁵

中接入口付近 0.65 m/s²/h * KIKUS 機 FP? 漏洩
D/N 入

(4人/組 x 2) 10,000

4³⁰ 現場作業禁止 津波 緊急指示

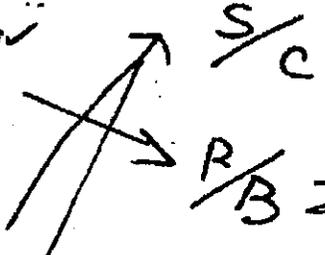
4²⁰~5⁰⁰ RCIC DA 注入準備 CSE → SF6
消火ホース 注入準備 (●●●●)
1m³ 注入開始

P/C 2.C-6 10¹⁶ / 7 - 5000
8 4000 800

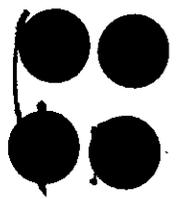
6¹⁴~6²⁶ " 1000ℓ — PCV 入 (AISO 指示)

D/N 入 0.75 MPa

3/2 9⁰⁴~9¹⁵ ①



北西 ~ 北東 外
S/C Hc 室 上部



9²⁴~9³² ②

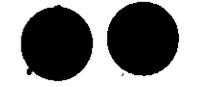


③

10¹⁶ PCV 入 A0-16d-90 南操作 X



10²⁴ " " X



10²⁴ " " X



PCV 入 A0-1601-90 南操作

PCV 入



1U

3.725 (V-1) = 4 x 100

2U

3U D/F P RUN

13 3-2 TIE 全開
FP 稼働率 0.17 MPA 以上

Rec 注水 連続?
4.32 3600 連続

543

CRD (A) 取扱 AOP (Menu)
取扱 継続中

AM ラインより注入 2-消滅 確認
2U RHR SW. D/S SW 確認 南 北 - 3.4 MPA 稼働中
13 北 稼働 0.57 MPA (13 8.5 MPA 稼働)

Rever 稼働 確認 (5.2 MPA)
CROSS RUN SW 確認

D/W 注 A0.90 南/北 稼働 ST-BY
1.2 MPA 以上 稼働 確認

0 ~ 100%
10 ~ 50
0% ~ 100%

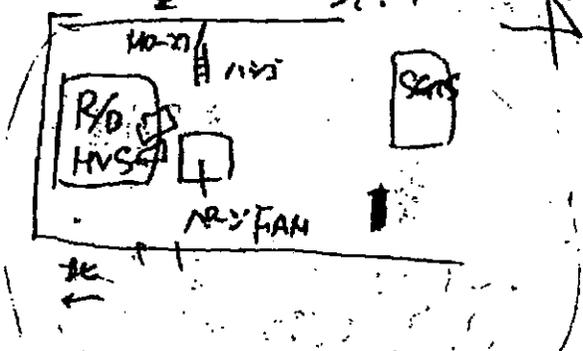
$(1.145 - 1) = 4 \times 100$
 $= 3.725 \frac{MPa}{\%}$

$1.145 - 1 = 1/4 \times 100$

1号機 - IA 注水 稼働 確認

CTHPP 取扱 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)

注水 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)



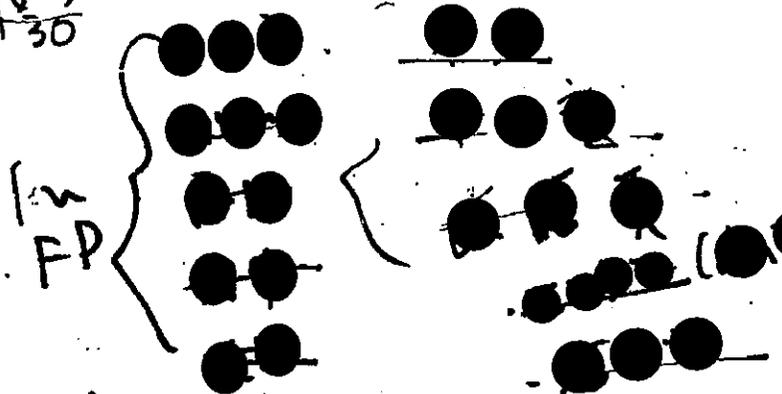
UWC
MPC

注水 稼働 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 稼働 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 稼働 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 稼働 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)
注水 稼働 確認 2.35 U AM 5.5 (PP 4.0 MPA)

0'14' ●●●●●●●●

1'05' 津波警報発令中

2'12' / 1'30'



2'10' ●●●●● ZERIC

2'15' 0.84 MPa → 67% (740 kPa.)

850 kPa
↓
θ/WA 1/2

2'25' 0.84 MPa - S/P TEH

0.86

3'15' 指示: 津波 避難指示

0.26

0.16.0

3'30' 3号 5/0 FP 起動完了

4'03' 中核放射線計 0.18 → 0.33 μS/h

6'00

0.74 MPa

2号 HTR 3号 水圧計 1'53' ~ ●●●●● 2'10'

4'00' ZERIC 10 77% → 5%



2号機 当直員引継日誌

福島第一原子力発電所 2号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌 (1 / 3)

平成 23 年 3 月 11 日 金 曜 日		2 直 E 班		[承認] 当直長								
引継者(作成者)名		[REDACTED] (E 班)										
引受者名		代勤 [REDACTED] (A 班)										
原子炉の状態		○ 運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃 料 交 換										
運 転 状 況	HT-BLNC	2378.8 MWe	R	圧力/温度	0.56 MPa / 18.9 °C	F	スキマーレベル	2.5 m	プール温度	26 °C		
	HT-BLNC	99.9 %	C	P'p	B/C	Hx	B/C	C	ポンプ&Hx	A F/D A	導電率 (2直のみ)	0.95 μS/cm
	GEN出力	788.8 MWe	W	SURG LVL	695 mm	GEN H ₂ 圧力 0.4121 MPa						
	PLR速度 A/B	81.2 / 81.4 %	T	圧力/温度	0.59 MPa / 24.4 °C	S/PLレベル	-21 mm	温度	15.5 °C			
	炉心流量	29233 T/H	C	P'p	B/C	Hx	B/C	大気圧	1010.7 hPa	D/W 圧力	5.9 kPa	
	原子炉水温度	273.9 °C	W	SURG LVL	1615 mm	M/CON VAC	4.59 kPa.abs					
	炉水電導度	0.06 μS/cm	S	圧力/温度	0.51 MPa / 7.1 °C	R/B差圧	- 0.12 kPa					
	CSTレベル	67 %	W	P'p	A/B	(採取時刻: 7 時 20 分)						
LCOに係わるインターロック 除外の有無	なし											
定 例 試 験 ・ 定 例 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容				結 果	状 況					
	05 : 02 ~ 05 : 54	M.CON B/W				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
						合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止					
備 考												

福島第一原子力発電所 2号機

平成 23 年 3 月 11 日 金 曜 日 (2 直) 当直員引継日誌 (3 / 3)

内 容		分類
1. 0時のRCW サージタンクレベルは 696mmでした。(前日703mm) ⇒ 降下率 0.96ℓ/h (7mm/day) ※3/10 RCWサブリング実施。		様
2. 現場状況		様
・T/D(B) HPSV廻り	モヤモヤ無し。	
・T/D(B) LPSV廻り	滴下なし。にじみなし。	
・T/Dリークオイル	A: 1滴/10秒, B: 滴下なし 検出器450mm	
・密封油 Wストレナ差圧	Tb側 11.5kPa / コレクタ側 4.6kPa	
・MOタンクベーパーファン出口Uシールレベル	23:31 給油口より 120cm	
・ハウザー フィルターポンプ吐出圧力	0.15MPa	
・OG汽水分離器出口水素	0:25 0.160% (水素 定格)	
・R/Bチラー膨張タンクレベル	494mm	
・H/B ドレンタンクレベル	6:00 -320mm	
・H/B 蒸気ヘッダー出口弁後安全弁[RV-Z2]	1d/1sec リークあり。	
3. 地震発生時刻について		他
以下マニュアルにより、気象庁発表時刻を記載しなければならないと思われます。 「当直引継日誌記載の手引き」当直長引継日誌 記載方法のみ、6号 地震観測装置 データ打出し時刻 となっているため、改訂が必要。		
①保安規定	第17条 周辺震度 5弱 以上の地震が観測…	
②二次マニュアル「地震後の対応マニュアル」		
・周辺震度 5弱 以上の地震が観測…		
・保安規定に該当しない地震は、基準点地震加速度のうち最大値の区分に応じた対応…		
※フローチャート上、“震度 5弱” 以上かどうか判断した後、基準点地震加速度 の最大値を確認する 流れとなっている。		
※マニュアル内の参考資料、平成3年 資源エネルギー庁 公益事業部 原子力発電安全審査課長からの 文書「原子力発電所に関する地震状況の報告について」の記載の中で 報告すべき事項 として 「発震日時」とあります。		
→ 発震時:ある1つの観測点に、地震波(P波)が到着する時刻。(当所が最速到着点ではない。)		
③地震後の対応ガイド(1F版) 7. 地震状況の通報連絡・報告		
・表-3「通報連絡・報告すべき地震の基準」で、周辺震度 or 基準点地震加速度のうち最大値		
④二次マニュアル「原子力報道発表マニュアル」		
・第一報 周辺震度 3 以上		
・第二報 基準点地震加速度のうち最大値		
気象庁発表のデータを判断や報告に使用していること及び 審査課長よりの文書から、地震発生時刻は 「発震日時(気象庁発表時刻)」が望ましいと思います。		
分類の凡例	M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他	

現場状況・申し送り事項等

福島第一原子力発電所 2号機

添付資料-2

当直員引継日誌

当直員引継日誌 (1 / 4)

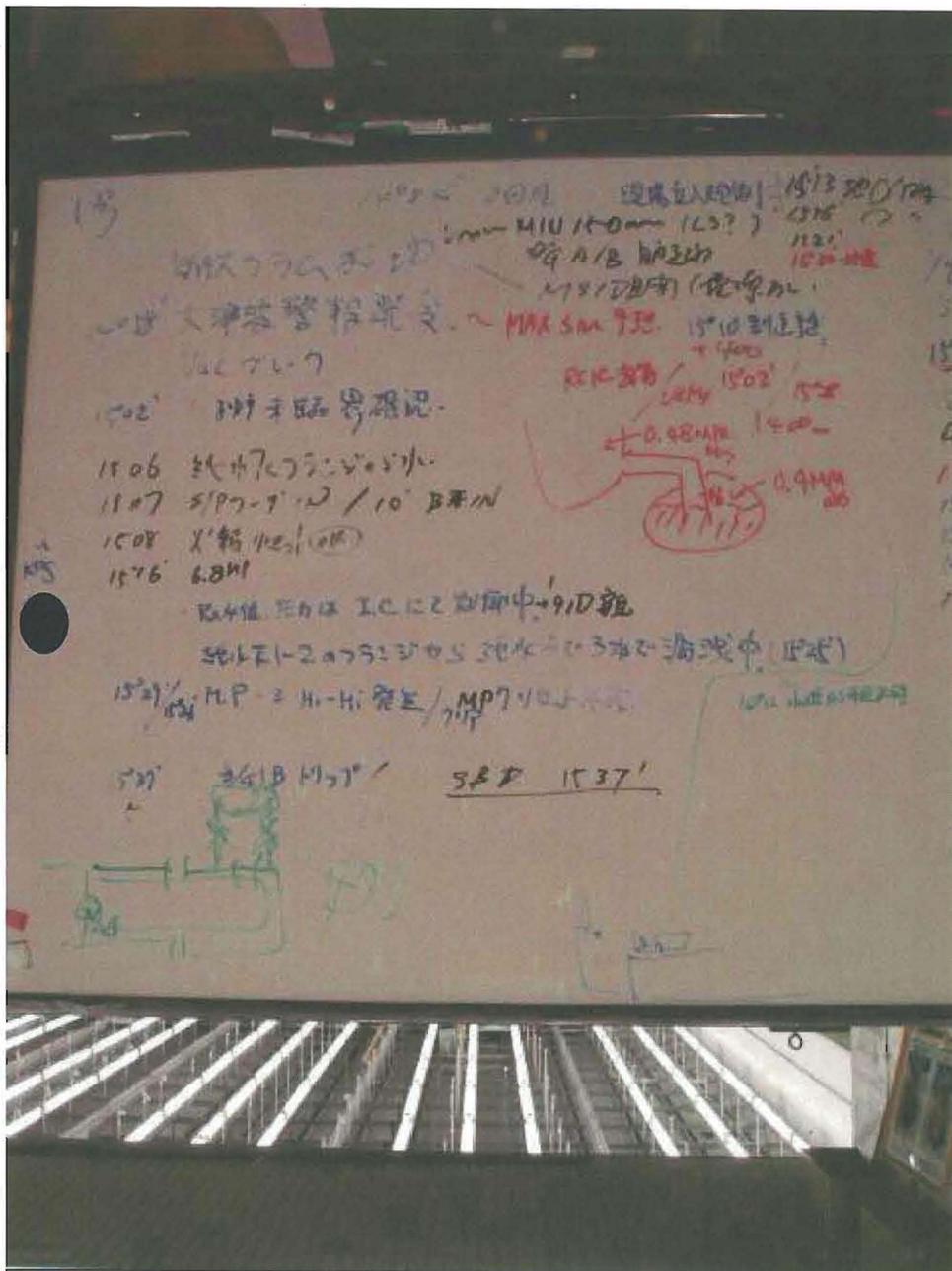
平成 23 年 3 月 11 日 金曜日		1 直 A 班		[承認] 当直長					
引継者(作成者)名		[REDACTED]							
引受者名		[REDACTED]							
原子炉の状態		○ 運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃 料 交 換							
運 転 状 況	HT-BLNC	MWt	R	圧力/温度 MPa / °C	F	スキマーレベル	m	プール温度	°C
	HT-BLNC	%	C	P'p Hx	P	ポンプ&Hx	F/D	導電率 (2直のみ)	μ S/cm
	GEN出力	MWe	W	SURG LVL	mm	GEN H ₂ 圧力	MPa		
	PLR速度 A/B	%	T	圧力/温度 MPa / °C	S/Plレベル	mm	温度	°C	
	炉心流量	T/H	C	P'p Hx	大気圧	hPa	D/W 圧力	kPa	
	原子炉水温度	°C	W	SURG LVL	mm	M/CON VAC	kPa.abs		
	炉水電導度	μ S/cm	S	圧力/温度 MPa / °C	R/B差圧	-	kPa		
	CSTレベル	%	W	P'p	(採取時刻: 時 分)				
	LCOに係わるインターロック 除外の有無		なし						
定 例 試 験 ・ 定 例 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容		結 果	状 況				
	10 : 33 ~ 10 : 43	スラット磨耗試験,MTSV試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	11 : 06 ~ 11 : 17	非常用密封油ポンプ自動起動試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	10 : 13 ~ 10 : 29	RFP-T 油ポンプ自動起動試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	10 : 05 ~ 10 : 12	RFP-T 油タンク油面 H/L 警報試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	/	一鉄溶解 / 注入開始		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	~	M.CON B/W		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	12 : 34	AVR 室空調機切替 (A) → (B)		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	09 : 02	計算機室空調機切替 (B) → (A)		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
	09 : 05	第2中操空調機切替 (B/D) → (A/C)		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止				
備 考									

福島第一原子力発電所 2号機

平成 23 年 3 月 11 日 金 曜日 (1 直) 当直員引継日誌 (2 / 4)

時刻	内容	分類
	【省令62号対象】	
08 : 37	中操PNL警報テスト	操
	RW PNL警報テスト	RW
	新FSTR PNL警報テスト	RW
	【定例業務】	
10 : 24 ~ 10 : 36	GEN H2 2本補給 0.411MPa → 0.422MPa	
	TCWHx (B/C) B/W	
11 : 49 ~ 11 : 55	RCWHx (B/C) B/W	
	水素注入量変更 0.6ppm→0.3ppm / 0.3ppm→0.6ppm (M.CON B/W)	
	【継続作業】	
08 : 40 ~	T/B 地下 床塗装(建築Gr)	
	SPDSサーバー新設工事	
09 : 07 ~ 11 : 46	空調月例点検(T/B排気FAN)	
09 : 27 ~	RW/B屋上塗装	
09 : 44 ~	R/B天井クレーン点検	
09 : 47 ~	モニタリングポスト点検(1号PTW)	
	【スチーム処理】	
09 : 01 ~ 09 : 10	スチームサンプルタンク B サンプルリング	
12 : 32 ~	スチームサンプルタンク B 放出 1130mm ↓ 370mm	
08 : 20 / 08 : 20	ANN「RADWASTE COMMON TROUBLE」(HVA2-2 TROUBLE)発生/確認 ※ HVA2-2 TRIP (E-0) RESETして再起動良好	
09 : 34 ~ 10 : 45	給復水金属フィルター交換作業	
	【TCW Hx A 本格点検】 ISOL & BLOW	
09 : 31 ~ 09 : 42	TCW Hx A 海水 & 淡水 隔離操作 海水:圧力(0.51MPa変化無し) 淡水:圧力(0.58→0.59MPa)、温度(25.0→21.5℃)	
09 : 45	TCW Hx A 逆先弁 NFB"OFF"(中間位置にて)	
10 : 02	TCW Hx A 海水側 フロー開始 指2本	
10 : 07	TCW Hx A 淡水側 フロー開始 指2本	
09 : 50 ~ 10 : 41	発電機水素ガスポンペ 5本 交換作業	
分類の凡例	M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他	

運転操作・事象発生時刻



15

1502 2011 1513 2011

MIU 1500 (L3?) 1515 1521

MAX SAM 933 1510 2011

MAX SAM 933

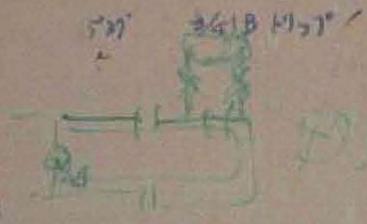
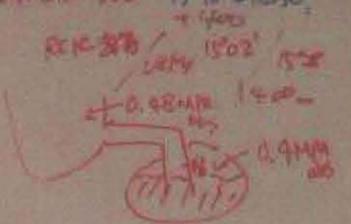
REC 388 1502 1521

1506 1507 1508

1576

1521

1537



23:05 10B 入工 禁止 在工指示

23:10 中柱内 PMS 使用

D/W 压力 281020 400

15 水位計 2700SS. 25 0 ~ 0:30 ~

7% 的 90% 的 確 率

10B 燃料 200L 1000
A 500E 1000
200E 1000
Gen 1000 1000

23:55 14 733E 1000

M/C 1000

0:00 1000

10:28 1000 燃料 補給 1000

1:30 1000 燃料 補給 1000

車

up

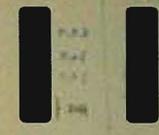
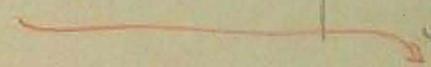
78%

假設 2000 元 25B

LP- 4C

JZ CRT-18

使用済



現場
検査

MSV	2300	120
松の3下南	0.5	0.3
" 北	1.2	0.8

0.4t?
3.10t?

13057 (3.19) 8762mm

23057 φ27

Per 水

121-703

172H

1.03

CA1130

3.50

U TISS 50<5

15:50 计划检查本进的水位不明

15:53 检查电话

15:56 水之出外-90cm 检查油1.2m

反设

M/C 水之出 1.61 检查油1.2

检查

DDFP - 7-7-25-1.2.3

57分

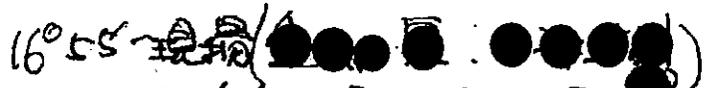
VB 地下全水设

2个下物抽心 4个木外抽心



SWPP 110 水之出

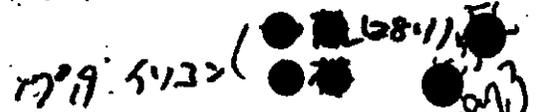
CWP 1 (2个下物抽心) -140cm



17:00

16:55 检查 (150cm) 100cm

17:09 检查



17:30 检查 (150cm) 100cm

17:37 检查 1.2m ← 检查 1.2m 检查 1.2m

2U

17:27: 检查 17:40 检查 检查 6 32

15:50 计划检查本进的水位不明

S/BAD 检查 检查 检查 1620

15:52 原办法第10条检查

15:58 检查 H-I-ANN (检查)

16:03 ANN NSSS 检查

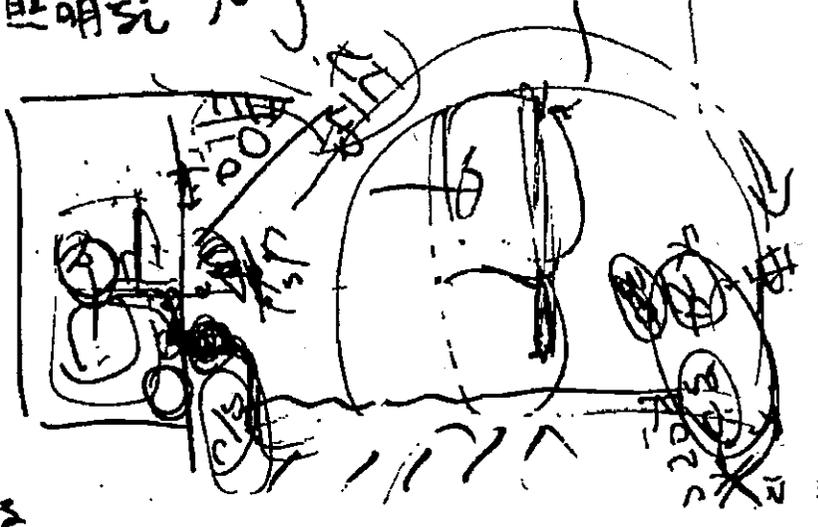
16:20 EOP 检查

2309 检查 M/C 水之出

16:36 原办法15条 检查

17:16 ECCN 检查 检查

检查 检查 检查 检查 检查



3
7:47 日FP 燃料 272L → 軽油E列排系可
(1-1)

17:49 同肉内 (p) 脱着 1.20 同肉内 使用不可
(中修中)

17:50 I.C 組取 放射線を放射する。300CFM

給電のS. 新福島駅。1.20 復旧を以て

18:00 同肉内 (p) 脱着 1.20 復旧を以て

18:06 I.C (2) 系 2A, 3A 肉 / 2 系 2 系 2 系

18:25 " 3A 肉

18:39 10 T/B 大肉内 (p) 脱着。1.20 復旧を以て。管理現場使用不可
18:42 P/S 使用不能。
18:55 大津港警備隊

19:00 高電圧車 → 25A 変電機中
19:22

15 M/c (1m 位) 水上 管内に可水

M/c A, B, C, D. } 同上

P/c A, B

P/c C, D (1.20)

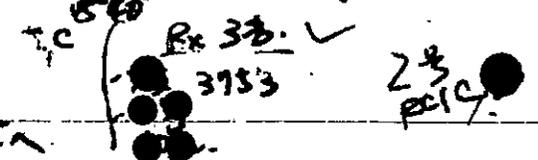
DC 同様に 125V



23 T TO 5225 T MC 2011 1500.

9本 773- (2) 東北電力 給電中 → 1.20 復旧を以て

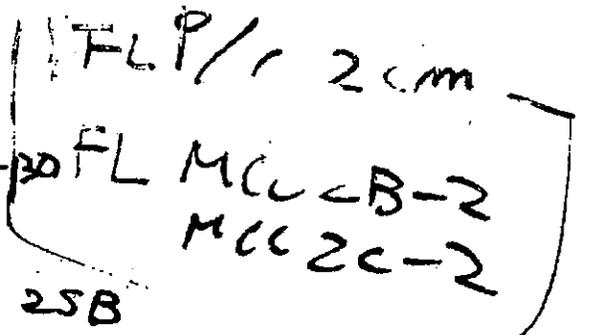
日FP 脱着後 → IC (2) 減圧



18:12 2号 10位 監視不可

18:12 2号 10位 監視不可
- 1B T/G 漏水
- 1A T/G 蓋 1m 50cm 位 1.20 復旧を以て

20:02 (日) 5REV 南/中 脱着
● 4ヶ所 7.0 MPa P/E 60A
● 水圧 -140 cm 位 - DS LI-30 FL
● 日FP 脱着 30ヶ所
23 M/c 2A 2B 2c 2d 25B



20:40 1/2 FPS 離し. 起動なし

20:50 1/2 FPS 起動

21:08 屋外 (音/消音) - 音/消音
21:04 自在な場所?

現場 検査 ●●

電話 (P-ジ) 使用不可 (10:37-08ms)

21:51 1/2 FPS 入域 禁止

1000 CPS

21:11 水位計 OS 確認. (15) +40 cm

A 1/11. O.S

21:16 7/11 元毎 1冊

21:21 燃料域水位計の仮設 +30 cm +40

IC (E) 動作

21:30 IC 3 A (用)

(B) 水位計 (1000 CPS)
21:32 4V +45 cm +50 cm
燃料域 IC

21:57 (15) +55 cm

22:12 " 59 〆

22:16 ●●●● (2A) - M25-B. 用 029.13
(総量計 持 213)

22:16

●●●● (2) 10 27A 用

22:22 MP 7 TD-45 7
" 8 TD-45 7

164
39
225

	1A	2A	
現場	2	10	4
中核	25		
<hr/>			
	27	10	4
<hr/>			
	41		

0020 燃料域 IC
+ 燃料域 IC

22:16 59 cm. 21:48 59
22:23 59 cm. 23:19 59

3/12 (土)
4:15

中接入口付近 0.65 m/s V/H * KIRIS 概 EP? 濁洗
D/N A/T

(4人/組 x 2) 10,000

4:30 現場作業禁止 濁洗 緊急指示

P/C 2C-6 10°16' 7
1000 2600 2000 10000
5000 4000 800
4000 800

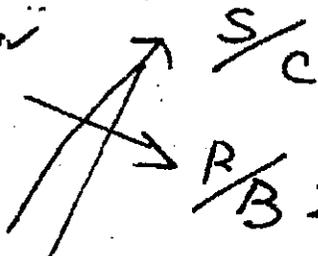
4:20 ~ 5:00 RCIC DA 追加の替 CSE → SF6

6:14 ~ 6:26 消火ポンプ注入準備 (● ● ● ●)

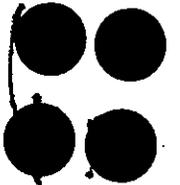
6:27 ~ 6:29 " 1000ℓ — PCVAV (AISO 255 Est)

D/W 0.75 MPa

3/12
9:04 ~ 9:15 ①



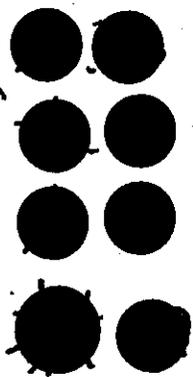
北西 ~ 東外 7 ~ 南東 外
SHC 検査 上部



9:24 ~ 9:32 ②



③



10:16 PCVAV A/T AD-16d-90 南操作 X
10:24 " " " " " " X
10:24 " " " " " " X

PCVAV A/T AD-1601-90 南操作



1U

3.73MHz
(V₀-1) ÷ 4 × 100

2U

REC 注水継続?
4.32 3600Hz

5413

3U D/O FP RUN φ

13 3-2 TIE 全開
FP 平均電圧 0.17MVA 以上

CRD (A) 須設 AOP (Menu)
後設電機中

AM ラインより注入? - 消滅
2U RHR SN. D/SW 監視 用 UK - 3.4MHz 監視
13 100Hz 0-57 用 (13 監視用 監視)

② RWE = 3.0V (5.32MHz)
CROSS RUN 1.5 (監視)

D/W Δ: 10-90 用/用 集コレ ST-BY
1.2777 の煙 煙止

10 ~ 50
0% ~ 100%

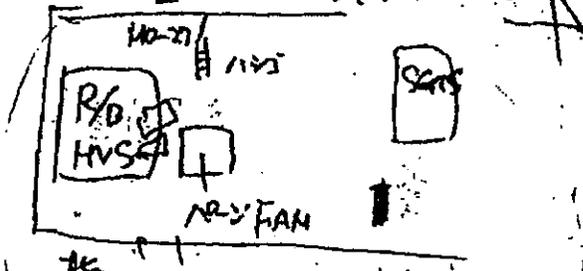
$$(1.145 - 1) \div 4 \times 100 = 3.725 \text{ Hz}$$

1号ヤケ - IA 注入監視

$$1.1450 = 1/4 \times 100 \text{ Hz}$$

④ CTR PP 2 取扱 2.56V AM 7.5V (PP 4.0V 5.5V)

2.56V 監視 監視 1627
1.7V 監視 監視 監視 → 監視
5.12V 監視 監視



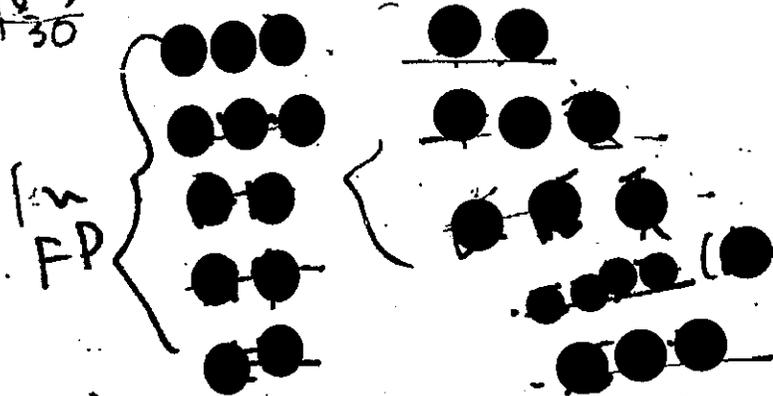
注) CRD (A) 監視 監視 監視
監視 監視 監視 監視
1.5 監視 除外時間 (UA 時間) 監視 監視
監視

SWC
監視

014' ●●●●●●●●

1°05' 津波警報発令中

2°12'
1°30'



2°10' ●●●●●●●● 2号RCIC

2°15' 0.84MPa → 0.6T/h
(740kPa.)

850kPa
↓
0.6T/h

2°25' 0.84MPa — S/P T/h

0.26

3°15' 高圧指示: 津波 避難指示

0.26

0.6T/h

3°30' 3号 S/P FP 起動完了

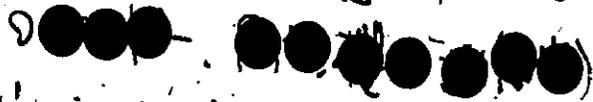
4°03' 中核放射線上昇 0.18 → 0.33 μS/h

6°00'

0.74 MPa

2号HTR主-水注注 1°53' - ●●●●●
2°10'

4°00' RCIC 10T/h → 5%



1号機 運転日誌

福島第一原子力発電所 1号機 非常用機器状態確認チェックシート

2011年3月11日

	承認 当直長	内容確認 当直副長	作成 当直員
1直			
2直			

項	目	通常 状態	2直	1直	項	目	通常 状態	2直	1直	項	目	通常 状態	2直	1直	記 事			
自動 逃し弁系	AO-95-2	×	✓		格納容器 冷却系 (A)	MO-2A	×	✓		隔離時 復水器系 (B)	-4B	○	✓					
	-95-4	○	✓			AO-3001	×	✓			-10B	×	✓					
	RY-203-3A	×	✓			-3002	×	✓			-17B-20B	○	✓					
	" B	×	✓			-3008	×	✓			ポンプB	SB	✓					
	" C	×	✓			-3009	×	✓		" D	SB	✓						
	" D	×	✓			-3010	×	✓		MO-25B	×	✓						
隔離時 復水器系 (A)	MO-1A	○	✓			-3011	×	✓		-24B	○	✓		炉 スプレイ系 (B)		-3B	○	✓
	-2A	○	✓			-3012	×	✓		-4B	×	✓				B系潤滑油ポンプ1B	SB	✓
	-3A	×	✓			-3013	×	✓		" 2B	SB	✓				" 3B	SB	✓
	-4A	○	✓			MO-3	×	✓		格納容器スプレイポンプC	SB	✓				MO-4C	○	✓
	-10A	×	✓			-4	○	✓		" D	SB	✓				-4D	○	✓
	-17A-20A	○	✓			-5	○	✓		-10B	×	✓				-11B	×	✓
	炉 スプレイ系 (A)	ポンプA	SB	✓			-6	○	✓		-11B	×	✓				-13B	×
" C		SB	✓		-8	×	✓		-13B	×	✓		-30B			○	✓	
MO-25A		×	✓		-9	○	✓		-1200	×	✓		-1201			×	✓	
-24A		○	✓		-10	×	✓		格納容器冷却海水ポンプC	SB	✓		" D			SB	✓	
-3A		○	✓		-14	×	✓		MO-2B	×	✓		ディーゼル 発電機1A			SB	✓	
-4A		×	✓		-15	×	✓		6.9KVレヤ断器1C1	○	✓		ディーゼル 発電機1B			SB	✓	
A系潤滑油ポンプ1A		SB	✓		-29	○	✓		6.9KVレヤ断器1D1	○	✓		1. 主要操作が終了し、引継ぎまでの間に状態を確認する。 1直帯は18時~引継ぎまで、2直帯は6時~引継ぎまで 2. 通常状態と比較し異常なければ「レ」相違する場合は、次の記号で 記載する。 3. 記号 レ:異常なし ○:閉 ×:開 W:作業中 RUN:運転中 MAN:手動 P/L:引き保持					
" 2A	SB	✓		-30	○	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓								
" 3A	SB	✓		-31	×	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓								
格納容器 冷却系 (A)	格納容器スプレイポンプA	SB	✓		-32	×	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	" B	SB	✓		-35	×	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	MO-4A	○	✓		-36	×	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	-4B	○	✓		-64	×	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	-10A	×	✓		-65	×	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	-11A	×	✓		タービン止め弁 (H0弁)	×	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	-13A	×	✓		タービン加減弁 (H0弁)	×	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	-30A	○	✓		AOP	SB	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	格納容器冷却海水ポンプA	SB	✓		復水ポンプ	SB	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	" B	SB	✓		真空ポンプ	SB	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
格納容器 冷却系 (A)	MO-5A	×	✓		流量制御器	AUTO	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	-5B	×	✓		MO-1B	○	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	-6A	×	✓		MO-2B	○	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
	MO-6B	×	✓		-3B	×	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
	隔離時復水器 系(B)	MO-2A	×	✓		MO-1B	○	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓						
		AO-3001	×	✓		MO-2B	○	✓		ディーゼル 発電機1B	SB	✓						
-3002		×	✓		-3B	×	✓		ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
-3008		×	✓						ディーゼル 発電機1B	SB	✓							
-3009		×	✓						ディーゼル 発電機1A	SB	✓							
-3010		×	✓						ディーゼル 発電機1B	SB	✓							

2号機 運転日誌

太枠は炉規則第7条/保安規定第120条対象記録

福島第一原子力発電所 2号機 運転日誌 [1]

2011年3月11日

... 重要記録欄(重要情報のプリント状態をチェックする)							
項目	炉水温度	燃料の位置	プールゲートの位置	原子炉の加圧	記録項目		記録が可能な項目
					2層	1層	
燃料位置(燃料位置監視装置)	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29
燃料位置監視装置	-	-	-	-	✓	✓	1.3.8.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30

記録確認項目	
1	原子炉出力監視
2	サプレッションポンプ(1)稼働
3	サプレッションポンプ(2)稼働
4	原子炉出力監視
5	原子炉出力監視(1層)
6	原子炉出力監視(SRNM, APRM)
7	原子炉出力監視
8	原子炉出力監視
9	原子炉出力監視
10	原子炉出力監視
11	原子炉出力監視
12	原子炉出力監視
13	原子炉出力監視
14	原子炉出力監視
15	原子炉出力監視
16	原子炉出力監視
17	原子炉出力監視
18	原子炉出力監視
19	原子炉出力監視
20	原子炉出力監視
21	原子炉出力監視
22	原子炉出力監視
23	原子炉出力監視
24	原子炉出力監視
25	原子炉出力監視
26	原子炉出力監視
27	原子炉出力監視
28	原子炉出力監視
29	原子炉出力監視
30	原子炉出力監視

確認	承認		内容確認	作成	作成者
	承認	承認			
原子炉主任技師	当直長	当直副長	当直員		
2直					
1-1直					
1-2直					
2直					

保安規定		9,13,40,48	9,13,45	9,13,48	26	9,28,27,120	9,120	9,120	9,13,31				
項目		原子炉に1体以上燃料が装荷されている場合連続				原子炉の状態が運転及び起動において1時間ごと							
時刻		原子炉出力(補1)				排ガス再結合器温度							
計器		NR-7-46A/B/O/D				TRS-24-119A TRS-24-119B							
PID		-				-							
1	CRS-59-132	LI-16-132	TR-18-720A/B	OZRS-59-75	S283	S285	101	101	101	159	264	159	267
2					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
8					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
9					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
10					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
11					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
12	6.06	-1.0	15.5	2.60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
13					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
14					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
15					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
16					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
17					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
18					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
19					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
20					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
21					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
22					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
23					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
24					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

補給水復算記録		格納容器内の原子炉冷却材溜り率			
現場		B-19			
D/W床下		D/W床下			
24					
0	1752.3	40129	103503	176541	
差					

発電機		変圧器等稼働							
発電機出力		起動用送電機				所内変圧器			
残み		2A	2B	小計	2A	2B	小計	所内電力	所内電力
24									
0	404.04	629.0	248.2		195.0	067.0		359.0	
差									

所内電力算出
2A3B+2B2+2A1B+2B1+(WHT-43-108 x 0.1) + 兼中ラド + 共用所内ボイラー直圧器(2号負荷分) = _____ MWh

所内電力のうち
兼中ラド(SA)使用分 _____ MWh 共用所内ボイラー(2号負荷分)使用分 _____ MWh

保安規定(運転日誌兼ガイド)
9-10 保安規定(1日の最大値)
9-12
S/V/R-30-20-3/A/B/C/D

保安規定(運転日誌兼ガイド)
1. 運転日誌兼ガイドの項目に該当しているものは、BOP打出後調査記録のため、最終打出し記録を修正し、データに異常がない事を確認し登録すること。
2. PTW以外で記録不可能な場合は「-」としその理由を自由記入欄に記入する。PTWの場合は「PTW」と記載する。
3. 記録不要な場合は「/」とする。(運転日誌兼ガイドの項目も同様)

福島第一原子力発電所 2号機 非常用機器状態確認チェックシート

2011年3月11日

	承認 当直長	内容確認 当直副長	作成 当直員
1直			
2直			

項	目	通常 状態	2直	1直	項	目	通常 状態	2直	1直	項	目	通常 状態	2直	1直	記 事
自動 逃し弁系	AO-2-71A	X	レ		炉心スプレ イ系 (A)	CSポンプA潤滑油ポンプA	SB	レ		残留熱 除去系 (B)	RHRポンプB系潤滑油ポンプ1B	SB	レ		
	-71B	X	レ			CSポンプA潤滑油予備ポンプA	SB	レ			RHRポンプB系潤滑油ポンプ2B	SB	レ		
	-71C	X	レ			MO-23-15	O	レ			RHRポンプB系潤滑油ポンプ3B	SB	レ		
	-71E	X	レ			-16	O	レ			RHRSポンプB,D潤滑油ポンプB ₁	SB	レ		
	-71G	X	レ			-14	X	レ			RHRSポンプB,D潤滑油ポンプB ₂	SB	レ		
	-71H	X	レ			-17	O	レ			RHRSポンプB,D潤滑油冷却ファンB ₁	SB	レ		
残留熱 除去系 (A)	RHRポンプ A	SB	レ		高 圧 水 系	-57	X	レ		炉 スプレ イ系 (B)	RHRSポンプB,D潤滑油冷却ファンB ₂	SB	レ		
	RHRポンプ C	SB	レ			-68	X	レ			ポンプB	SB	レ		
	RHRSポンプ A	SB	レ			-21	X	レ			MO-14-7B	O	レ		
	RHRSポンプ C	SB	レ			-20	O	レ			-11B	O	レ		
	MO-10-15A	X	レ			-19	X	レ			-12B	X	レ		
	-15C	X	レ			-24	X	レ			-26B	X	レ		
	-16A	X	レ			-25	X	レ			-6B	O	レ		
	-65A	O	レ			-144	X	レ			CSポンプB潤滑油ポンプB	SB	レ		
	-66A	O	レ			タービン止め弁	X	レ			CSポンプB潤滑油予備ポンプB	SB	レ		
	-12A	O	レ			タービン加減弁	X	レ			MO-13-15	O	レ		
	-27A	O	レ			潤滑油ポンプ	SB	レ			-16	O	レ		
	-25A	X	レ			復水ポンプ	SB	レ			-131	X	レ		
	-31A	X	レ			真空ポンプ	SB	レ			-18	O	レ		
	-26A	X	レ			流量制御器	AUTO	レ			-39	X	レ		
	-38A	X	レ			RHRポンプB	SB	レ			-41	X	レ		
	-39A	X	レ			RHRポンプD	SB	レ			-20	O	レ		
	-34A	X	レ			RHRSポンプB	SB	レ			-21	X	レ		
	-13A	O	レ			RHRSポンプD	SB	レ			-30	X	レ		
	-13C	O	レ			MO-10-15B	X	レ			-27	X	レ		
	-89A	X	レ			-15D	X	レ			-132	X	レ		
-20	O	レ		-16B	X	レ		タービン止め弁	O	レ					
RHRポンプA系潤滑油ポンプ1A	SB	レ		-65B	O	レ		タービン加減弁	O	レ					
RHRポンプA系潤滑油ポンプ2A	SB	レ		-66B	O	レ		復水ポンプ	SB	レ					
RHRポンプA系潤滑油ポンプ3A	SB	レ		-12B	O	レ		真空ポンプ	SB	レ					
RHRSポンプA,C潤滑油ポンプA ₁	SB	レ		-27B	O	レ		流量制御器	AUTO	レ					
RHRSポンプA,C潤滑油ポンプA ₂	SB	レ		-25B	X	レ		ディーゼル 発電機2A	SB	レ					
RHRSポンプA,C潤滑油冷却ファンA ₁	SB	レ		-31B	X	レ		6.9kvしゃ断器2C3	O	レ					
RHRSポンプA,C潤滑油冷却ファンA ₂	SB	レ		-26B	X	レ		ディーゼル 発電機2B	SB	レ					
ポンプA	SB	レ		-38B	X	レ		6.9kvしゃ断器2E2B	O	レ					
炉 スプレ イ系 (A)	MO-14-7A	O	レ		残留熱 除去系 (B)	-39B	X	レ		隔離時 冷却系	タービン止め弁	O	レ		1. 主要操作が終了し、引継ぎまでの間に状態を確認する。 1直帯は18時~引継ぎまで、2直帯は6時~引継ぎまで 2. 通常状態と比較し異常なれば「レ」相違する場合は、次の記号で 記載する。 3. 記号 レ:異常なし O:開 X:閉 W:作業中 RUN:運転中 MAN:手動 P/L:引き保持
	-11A	O	レ			-34B	X	レ			タービン加減弁	O	レ		
	-12A	X	レ			-13B	O	レ			復水ポンプ	SB	レ		
	-26A	X	レ			-13D	O	レ			真空ポンプ	SB	レ		
	-5A	O	レ			-89B	X	レ			流量制御器	AUTO	レ		